

# くまそう

vol. 19 23.  
08.

summer season

Kumagaya  
General  
Hospital  
News Letter

## CONTENTS

診療科紹介 呼吸器内科 部署紹介 看護部 本館6階(H6) 本館7階(H7)

リハ科 ワンポイント講座 栄養科 熱中症対策と糖尿病

まちの医療機関 くまそうTOPICS

# 呼吸器内科



呼吸器内科医長  
嶺崎 祥平 先生

## ● 呼吸器内科での診療

◆ 当科は 主に呼吸器系(肺、気管支、胸膜)の病気で、肺がん呼吸器感染症、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、間質性肺炎など広範囲にわたる呼吸器疾患の診療を担当しています。肺がんにおける診断には、CT・喀痰検査・気管支鏡検査を用いて診断を行います。肺がん治療には、化学療法・放射線治療の集学的治療が当院では可能です。放射線治療は、強度変調回転照射が可能な「トモセラピー」を用いることにより、正常な臓器・細胞への放射線量を軽減できるのが特徴です。

呼吸器外科的な治療については大学病院等と連携をとりながら様々な呼吸器疾患を取り扱っています。慢性呼吸器不全の治療として、在宅酸素療法、NPPV(マスクによる在宅人工呼吸器療法)の治療も行い、患者さんのQOL(生活の質)の改善に努めています。呼吸器感染症、とりわけ排菌のある肺結核症については、当院には結核病床がないため、入院を要する場合には専門病床を有する病院にご紹介することになります。睡眠中の「いびき」や「無呼吸」などを家族からご指摘された場合など、睡眠時無呼吸症候群の精査・診断についても是非当科へご相談ください。

## ● 疾患に対する治療内容・診断等

呼吸器感染症	通常の肺炎・気管支炎に加えレジオネラ肺炎やニューモシスティス肺炎などの特殊な肺炎や種々の肺真菌症、非結核性抗酸菌症などの診療も行っています。
肺がん	喀痰検査(培養、細胞診)気管支鏡検査による診断を行います。放射線治療・化学療法で集学的治療を行います。外科的治療を選択する場合は、専門病院と連携をとっています。
気管支喘息	ガイドラインに準拠し吸入療法を中心とした治療
間質性肺炎	ステロイド薬や免疫抑制薬、進行性の間質性肺炎には、抗線維化薬
慢性呼吸不全	在宅酸素療法、NPPV(マスクによる在宅人工呼吸器療法)の治療
睡眠時無呼吸症候群	終夜簡易まやは終夜睡眠ポリグラフィーによる評価・診断

● **専門外来(予約制)** 専門的な検査・診断の為に 当院は、かかりつけの先生からのご紹介による紹介受診を推進しております。

◆ **肺がん外来** 小林 国彦先生(金 午前)

- ◆ 息切れ ◆ 呼吸困難 ◆ せき、たんの症状が改善しない場合
- ◆ 健診で「胸部異常陰影」を指摘された方など



◆ **睡眠時無呼吸症候群(SAS)** 大谷 秀雄先生(水)

- ◆ 大きないびき ◆ 日中いつも眠い ◆ 居眠り運転を起こしそうになる ◆ 夜中に何度も目が覚める
- ◆ 夜間の呼吸停止 ◆ 夜間の頻尿 ◆ 起床時の頭痛やだるさ



やってみよう 自己チェック!

- 座って何かを読んでいる時
- 座ってテレビを見ている時
- 人の大勢いる場所で座っている時(会議中や映画館など)
- 他の人が運転する車に1時間続けて乗っている時
- 午後、横になって休んでいる時
- 座って人と話をしている時
- アルコールを飲まずに昼食後、静かに座っている時
- 座って手紙や書類などを書いている時

それぞれの状況について、次の中で最も当てはまる番号を選んでください。  
 0=居眠りすることはない  
 1=たまに居眠りしてしまう  
 2=ときどき居眠りしてしまう  
 3=居眠りしてしまうことが多い



合計が11点以上で日中の眠気が強いと判断します。専門医の診療をお勧めします。

● **当院で可能な呼吸器疾患関連検査(医療設備)**

- 気管支鏡検査
- 呼吸機能検査
- 喀痰検査(培養、細胞診)
- PET-CT
- 胸部レントゲン・CT
- 精密・簡易型睡眠ポリグラフィー



PET-CT

● **外来医師担当表**

		月	火	水	木	金	土
		嶺崎	折茂	大谷	※非常勤	赤羽	赤羽
午前	睡眠時無呼吸	大谷					
	肺がん外来					◆小林	
午後		折茂		赤羽			
午前	呼吸器外科				梅咲		
午後					梅咲		

土曜日は、11時までの受付です。

◆小林医師の外来は、11時までの受付です。  
 午後外来は、予約制です。



部署紹介 一看護部一

## 本館6階病棟（H6）



診療科

消化器内科  
一般内科  
呼吸器内科  
腎臓内科

病床数

55床

看護師数

38名



### 主な疾患と年齢層

- ・消化器内科：総胆管結石、食道・胃・大腸の早期癌やポリープ、潰瘍性大腸炎、クローン病など
- ・一般内科：肝癌、肝硬変、誤嚥性肺炎など
- ・呼吸器内科：肺癌、肺炎、気胸、間質性肺炎など
- ・腎臓内科：慢性腎不全、透析導入など

※年齢層は70～80代が最も多いですが、若年層～高齢層の方もいます

### 治療と検査、処置

内視鏡治療全般、肝生検や肝動脈塞栓術、ラジオ波焼灼療法、気管支鏡、放射線療法、化学療法、胸腔ドレナージ、透析導入に対するシャント造設など。

※疾患に対する治療や処置が行われています



### 看護の特徴

患者さんが安心して入院生活が過ごせるよう、また、治療や検査がスムーズに受けられるよう、説明や声かけを行うことで不安の軽減に努め、患者さんに寄り添った看護ケアの提供を心がけています。また、看護師は、新人から30年以上のスタッフがいますが、仲が良だけでなく、時には厳しく指導し合うことで、お互いのスキルアップに励み、思いやりと笑顔のあふれる質の高い看護を目指す活気ある病棟です。

慢性期疾患の患者さんも多く、入院から退院までの生活を見据え、医師・リハビリ・薬剤師・MSWなどの多職種で協働しながら、患者さんやその家族の療養生活のサポートにも積極的に取り組んでいます。入院される患者さんが、私たちの病棟に入院してよかったと思ってもらえるよう、常に患者さんの声に耳を傾け、患者さんファーストの看護を心がけていきたいと思っています。



部署紹介 一看護部一

## 本館7階病棟（H7）

くまそうの最上階であり、病棟からの眺めがよく色々な角度から眺める山々が四季を感じさせてくれたり、患者さんの心を癒してくれます。

診療科

整形外科

小児科

眼科

病床数

53床

看護師数

34名



本館7階病棟は整形外科、小児科、眼科を主とした混合病棟です。

### 整形外科

整形外科は骨、関節、筋肉などの運動器と脊椎疾患を担当しています。転んで骨折したなどの理由の外傷、加齢による変形性疾患などの患者さんが手術治療や保存治療を目的に入院されます。地域の整形外科の先生方と連携して救急患者さんや手術が必要な患者さんの紹介、逆紹介も行っています。手術は誰しものが緊張しますが、安心して手術ができるよう、手術後は痛みや辛さが緩和されるように関わっています。術後のリハビリも意欲的に行えるようにリハビリスタッフとも協力しています。



新人看護師からベテラン看護師と様々な年代が勤務しており、働きやすい職場を目指しています。昨年度は男性職員が育児休業の取得をして、個々のワークライフバランスをスタッフで尊重しています。定期的に勉強会を実施し、知識の共有や技術の向上を目指しています。

### 眼科

眼科は白内障の手術が多く、スムーズに入院から手術、退院へのサポートをしています。入院期間は基本的に1泊2日になっています。

### 小児科

小児科は感染症から川崎病などの疾患で入院される方が多いです。様々な年齢に対応し、付添いをされるご家族のサポートも心掛けています。

地域の高齢者から小児まですべての年代が安心して入院、治療ができるようにスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。





One point

リハビリテーション科 ワンポイント講座

# 脳卒中を防止するための運動について



リハビリテーション科係長  
脳卒中認定理学療法士

高野 利彦

私たちリハビリテーション専門職は、脳卒中になり病院に入院されてきた方々に対し、日々リハビリテーションを提供しています。その中で痛感していることは、やはり「予防できる段階で予防し、脳卒中になる確率を減らしてほしい」ということです。

## 理想的な脳卒中对策

- ① 生活習慣の改善 血圧、血糖、脂質の管理  
心房細動の早期発見と管理による予防
- ② 発症時の気づきと迅速な救急搬送要請
- ③ ストロークユニット（脳卒中集中治療室）での急性期治療  
脳梗塞ならば発症4.5時間以内のt-PAによる血栓溶解療法と 8時間以内の血管内治療  
遠隔医療の活用  
そして 急性期からのリハビリテーション
- ④ 専門性と環境を備えた回復期リハビリ病棟でのリハビリテーション
- ⑤ 生活期のかかりつけ医による再発予防と社会復帰

が挙げられています。この中のどれもが大切ですが、

### ① 生活習慣の改善には運動が欠かせません。今回はこの運動についてご提案させていただきます。

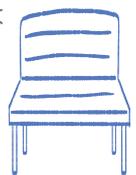
#### ● 運動の内容

散歩等の有酸素運動に加え、柔軟運動やスクワット等の筋力トレーニングを混ぜて実施することが推奨されています。



#### ● 運動に関する日常生活での工夫

- ・座っている時間を減らす（テレビを見ているときに、CMの時には立ったり歩いたりしましょう）
- ・歯磨きをしながらかかと上げ運動（2秒で上げて2秒で下げる）
- ・晴れている日は買い物に行ったときに、駐車場のお店から遠いところに車を停める



#### ● 運動の時間

1日に30分以上が理想的ですが、1週間に2回、1日15分という少ない運動時間から開始し、徐々に増やしていくのでも一定の効果は得られます。



「千里の道も、一歩から」「塵も積もれば山となる」少しの心掛けが自分の健康、家族への責任、社会貢献につながります！是非参考にしてみてください。



## 暑い季節、 こまめに摂りたいのは 水分ですね！



管理栄養士 新井 祐貴

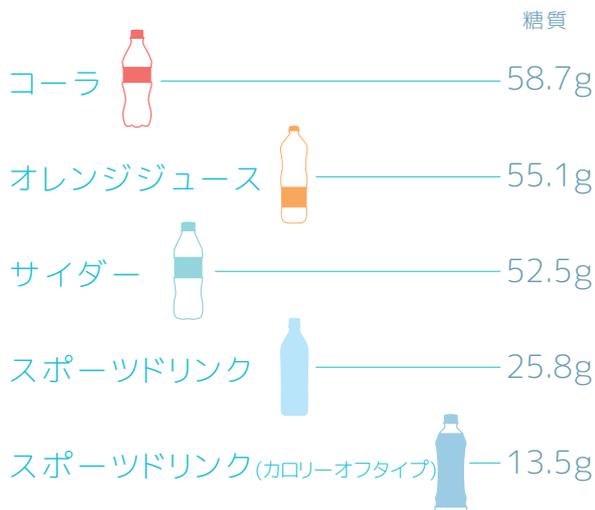
熱中症対策の水分補給は、ミネラル分を含んだ身体の体液に近いスポーツドリンク等が良いとされています。

暑い夏を乗り切る方には、血糖値が高めといわれている方や、糖尿病の治療をされている方もいると思います。

そんな方でも水分補給はスポーツドリンクがいいのか？

実はスポーツドリンクには糖質がたくさん含まれているのです。

### 飲料水(500ml)に含まれる糖質の量 角砂糖1個あたり、糖質 4g



市販で売られているスポーツドリンクの中には、実は角砂糖約6個分の糖質が入っています。コーラやサイダーに関してはそれ以上の糖質量！

そんな飲み物を毎日飲み続けていると常に血糖値が高い状態になってしまいます。症状としては口の中や喉が常に渇き、お手洗いが近く何度もトイレに行くようになります。これはいわゆるペットボトル症候群と言われ、最悪意識を失ってしまう可能性もあります(高血糖昏睡)。

そうならないためにも、脱水予防のための飲み物は、なるべく無糖飲料を心がけましょう。ちなみに市販飲料の中にはカロリーオフと表記されているものもありますが、カロリーオフであっても糖質は入っているため飲むのは控えましょう。

夏場のおすすめ飲料は  
ミネラル分の豊富な  
麦茶です。



炭酸系を飲みたい！ 無糖の炭酸水にレモン果汁などを絞ったもの等が暑い日はさっぱりと飲めます。熱中症対策の水分補給と良好な血糖コントロールを両立させて、夏を思いきり楽しみましょう！

当院では、外来栄養指導を行っています。糖尿病や高血圧症などがある方は、栄養指導を受けることが可能です。まずは主治医に相談してみてください。



# まちの医療機関

～くまそうの医療連携パートナーをご紹介します～

No.016

## 川島胃腸科

TEL:048-553-0001

- 診療科 外科・循環器科・肛門科・内科
- 住所 行田市佐間1-18-39
- 院長 川島 亨 先生
- 駐車場 10台ほどあり
- 診療所の特徴

胃腸は人間が生きて行く上での要(かなめ)の臓器です。命の入口が消化器であり、同時に免疫力を育てるのになくしてはならない器官が消化器なのです。しかしまた、胃腸は心も含めた生活習慣やウイルスなどの感染症の影響をととも受け易い器官でもあります。川島胃腸科は正確な治療を通じて「胃と腸のプロ」としてこの地で45年間、地域のみなさまの健康をお守りする仕事を続けてきました。

### ■ 院長先生のモットー・大切にされていること

私たちは家族を思う優しさと労りで病人と接します。そして家族を思う慎重さで身体のチェックを行います。病気は早期発見早期治療が大切ですが、もっとも大切なのは

発病前に手を打つ未病対策であり予防であると考えているからです。川島胃腸科は、大切な家族を守る「胃腸のプロ」として、これからも皆様のお役にたちたいと考えています。



	月	火	水	木	金	土	日
9:15 ~ 12:30	●	●	●	-	●	●	-
17:00 ~ 19:00	●	●	●	-	●	-	-

■ 初診の方は18時迄の受付になります

■ 休診日:木・土(午後)・日・祝

No.017

医療法人nagomi会

## まつだ整形外科クリニック TEL:048-567-0753

- 診療科 整形外科
- 住所 熊谷市弥藤吾180番地1
- 院長 松田 芳和 先生
- 駐車場 40台ほどあり
- 診療所の特徴

当院は「医療とスポーツと食」を融合させて「健康寿命の延伸に寄与する」ことをビジョンに掲げています。そして「患者さんに寄り添った優しいクリニックであること」を目標にしています。診療面においてはソフトとハード両面を充実させ、レベルの高い医療の提供を目指して、日々、知識と技術の獲得に努力しております。また、2014年再生医療等安全性確保法の施行と同時に全国的にも先駆けて「再生医療」を取り入れ、スポーツ選手から高齢者の関節症の方々へ新たな治療の選択肢として多くの方々に提供しています。

### ■ 院長先生のモットー・大切にされていること

nagomi会のビジョンである「医療とスポーツと食を融合させ

て、健康寿命の延伸に寄与する」そして「スポーツを通じて社会貢献、地域社会の活性化」をぶれない軸として、スタッフと共有し実践していくことを大切にしています。特に、既存の常識に促されることなく、常に変化を恐れず、楽しみながらビジョン達成のためにチャレンジしていきたいと考えています。



	月	火	水	木	金	土	日
8:45 ~ 12:00	●	●	-	●	●	●	-
14:30 ~ 18:30	●	●	-	●	●	14:00 17:00	-

■ 休診日:水・日・祝

No.018

## こせがわ内科クリニック TEL:048-578-5622

- 診療科 内科
- 住所 熊谷市広瀬 226-6
- 院長 小瀬川 至 先生
- 駐車場 16台ほどあり
- 診療所の特徴

内科一般に対応していますが内分泌内科・糖尿病内科出身のため糖尿病と甲状腺疾患の患者さんが比較的多く受診されます。

### ■ 院長先生のモットー・大切にされていること

症状や検査結果に関してはできるだけいねいに説明するように心がけています。治療に関してもなるべく患者さんと相談のうえ進めていくようにしています。



	月	火	水	木	金	土	日
9:15 ~ 12:00	●	●	●	-	●	●	-
15:00 ~ 18:00	●	●	●	-	●	-	-

■ 休診日：木・土(午後)・日・祝

No.019

## しがらき医院 TEL:048-598-5765

- 診療科 内科・呼吸器科・循環器科・アレルギー科
- 住所 深谷市東方3276-17
- 院長 大谷 秀雄 先生
- 駐車場 8台ほどあり
- 診療所の特徴

しがらき医院は埼玉県深谷市にある、循環器科、呼吸器科、内科、アレルギー科を標榜する医療機関です。当医院では健康保険を使つての禁煙治療や睡眠時無呼吸症候群の治療も行っております。最寄りの駅は籠原駅です。

### ■ 院長先生のモットー・大切にされていること

“苦痛を取り除き、笑顔を取り戻す”“取り戻した笑顔を、いつまでも長続きさせる”現代社会では、多くの方が様々な苦痛を抱えています。私は、苦痛を軽減させ幸せな時間を長続きさせるにはどうしたらよいか、ということを常に考え、研究を進め診療の経験を深めて参りました。北埼玉は私の生まれた地であり育ててくれた大切な故郷であり、自分の家族ならどうする

かという視点に立ち、この地域の皆様の笑顔を守れるような医療を提供できるように努力をして参ります。

私の原点であるこの北埼玉の地で



	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ~ 12:30	●	●	-	●	●	●	-
15:30 ~ 19:00	●	●	-	●	-	● 14:30~ 18:00	-

■ 休診日：水・金(午後)・日・祝

■ 午前・午後の診療受付時間は、診療終了時間の30分前までとなります。



## 紹介 入職医師の紹介

- 氏名 大森 敬太
- 専門 消化器外科・肝胆膵外科
- 出身大学 琉球大学
- 資格
  - ・日本外科学会専門医・日本消化器外科学会専門医
  - ・消化器がん外科治療認定医・日本消化器病学会専門医
  - ・日本癌治療認定医機構がん治療認定医・日本DMAT隊員
- 自己紹介・あいさつ



熊谷総合病院 外科に5月より着任致しました。  
 医師21年目を熊谷で迎えることができ、胸躍る思いです。  
 肝胆膵領域を中心に、北部医療圏のみなさまのお役に立てるよう  
 力を尽くす所存です。  
 どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 4/10.11 病院機能評価 (3rdG:Ver2.0 一般病院2) を受審いたしました

2023年4月10、11日に行われた「病院機能評価」(3rdG:Ver2.0 一般病院2)を受審いたしました。

病院機能評価とは、専門家による第三者の立場で、患者さんが安全で安心な医療が受けられるように、病院が「診療の質・良質な医療の実践・組織運営」にどのように取り組んでいるかを学術的、中立的、専門的な見地から評価が行われるものです。5年前に初回の病院機能評価を受審して以降、新たな治療法や高性能機器の積極的導入により集学的治療が可能となったことやさまざまな取り組みを通じて、当院には大きな変化・変遷がありました。今後も“患者中心の良質な医療を達成するため”のPDCAサイクルを回し続け、地域に根差した信頼され続ける医療機関であり続けるために邁進してまいります。

## 5/2 ワイルドナイツ サイクルシェアリング

熊谷総合病院の駐輪場に、ワイルドナイツ サイクルシェアリングのサイクルステーションが設置されました。これは、乗りたいときに借りて、行きたい場所で返すことができる自転車のシェアサービスです。ラクラク電動アシスト自転車で、熊谷市内では23カ所目の設置となりました。当院へのアクセスの手段の一つとしてぜひご利用ください。

詳しくはご参照ください。

<https://interstreet.jp/wkcycle/>



当院のKumasouホールにて熊谷ウオーキングクラブ主催の10周年記念「いつでも元気講座」が開催され、40名の市民の方が参加されました。最初にウオーキングクラブ代表の鈴木 國昭 氏による、手づくりの紙芝居「今から健康チェック」をご講演いただきました。

当院からは、脳神経外科 鳴原 良仁 医師による「認知症はけっこう良くなる”生活習慣の改善で生き生きした毎日を!!”」を講演されました。また、リハビリテーション科から認知症ケア専門士である関野 航嘉 作業療法士による「頭と体の若返り」と題してコグニサイズを実施しました。参加者全員で実践し、元気にレクリエーションを楽しみました。今後も地域の健康関連のイベントへの参加、啓発活動を展開してまいります。



## 市民公開講座

## 認知症はけっこう良くなる

生活習慣の改善で生き生きした毎日を!!

主催：認知症とあゆむ熊谷家族の会  
 後援：熊谷市・熊谷市社会福祉協議会  
 熊谷市ボランティア連絡会

会場：熊谷文化創造館 さくらめいと 月のホール

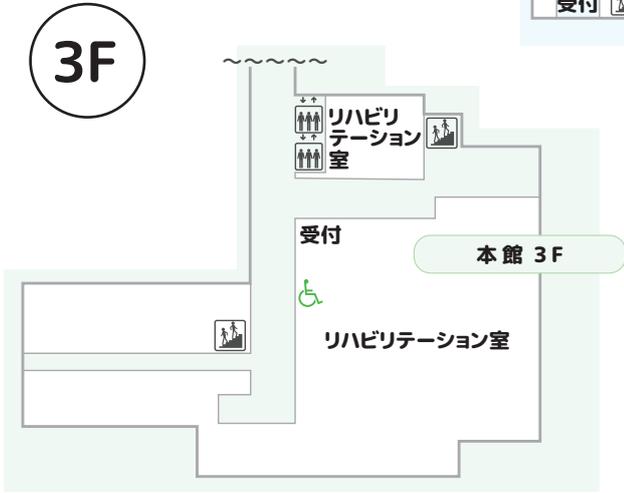
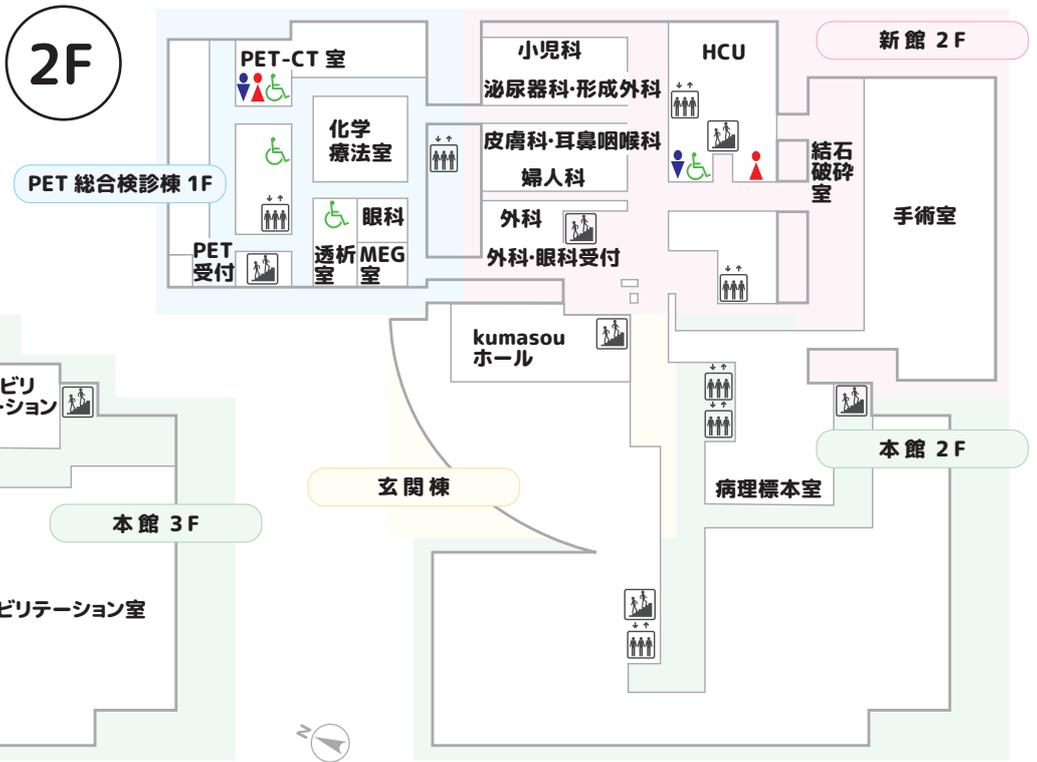
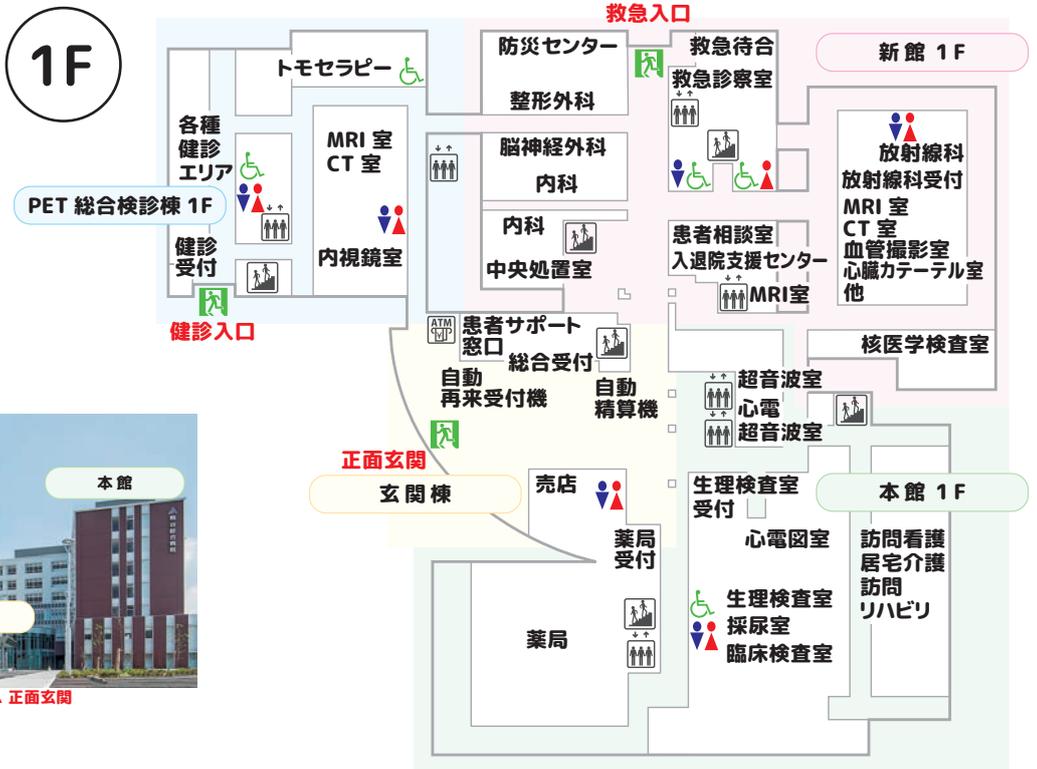
熊谷総合病院 脳神経外科 鳴原（しぎはら）良仁医師による「認知症はけっこう良くなる”生活習慣の改善で生き生きした毎日を!!”」を講演されました。会場には約250名の参加者が来場されました。

認知症の改善には生活習慣が大切であることを語り、実際にクイズや研究結果の解析データをもとに会場の参加者の興味・関心を高めていました。会場の参加者からは、鳴原医師の講演内容がわかりやすく理解できた。認知症を恐れず、日常生活にときめきのある生活を送れるようにしたい」などの感想がありました。

鳴原医師は、当院で物忘れ・認知症外来における診療や脳機能検査を行っています。とくに「脳磁図(MEG)」を用いた認知機能検査に力を入れていて、よりよい検査を提供するために、研究開発にも力を入れています。成果は国際的な科学雑誌にもしばしば掲載されています。



# くまそう 院内マップ 1F～3F



### 病院理念

- わたくしたちは、この地に歴史をきざむ熊谷総合病院に勤める医療人です。  
わたくしたちは、この地にふさわしい専門的視野と未来への展望に立って、ここに新生熊谷総合病院の病院理念を制定いたします。
- 一．わたくしたちは地域の一員として、すべての患者さんを心あたたかく迎え入れます。
  - 一．わたくしたちは地域の医療を常に高く保つため、みずから進んで学習します。
  - 一．わたくしたちは地域の未来をになう若き医療人の育成に励みます。
  - 一．わたくしたちは地域の必要に応える最新医療を提供し続けます。
- そしてわたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築きあげます。



日本医療機能評価機構  
認定病院 (3rdG:Ver1.1)



〒360-8567 埼玉県熊谷市中西4-5-1  
TEL:048-521-0065(代) FAX:048-523-5928(代)  
<https://www.kumasou.or.jp/>

